

貸付実情調査書 (記入例)

この調査は、実情を調査し、借入状況を考慮したうえ貸付の決定を行うため、また、近年増加している貸付保険事故の発生を未然に防止するために記入していただくものです。

なお、記入していただきました個人情報については、貸付事業の目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

1. 申込希望金額は、貸付事由の使途目的に相違ありませんか？ (どちらかに○)

はい ・ いいえ

2. 他からの借り入れ状況

文部科学省共済組合以外からの借入金の有無 (どちらかに○) 有 ・ 無

↓

「有」の場合

住宅に係る貸付 (月額) 35,000 円

住宅以外の貸付 (カードローンを含む) (月額) 10,000 円

3. 返済能力の確認

今回の申込み希望金額を含めた全ての借り入れに対する月々の返済金は、自己の返済能力 (※) を超えたものとなっていませんか？ (どちらかに○) 超えている ・ 超えていない

(※) 他の全ての借り入れを含む月額返済額が月収額の 25%程度が目安

↓

「超えている」の場合

※今後の返済計画を記載してください。

[]

4. 貸付申込時点で、破産等 (民事再生を含む) の申立てについて弁護士又は司法書士に手続きを委任していませんか？ (どちらかに○) 委任している ・ 委任していない

※自らが申し立てた場合及び今後予定している場合を含む

(申立て)

必ず自筆で記載してください。

本調査の記載内容に偽りはありません。

令和 元 年 5 月 8 日

必ず自筆・押印してください。

申込日

組合員氏名 共 済 太 郎

共
済

(署名・押印)